

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年2月28日
近畿運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
生駒市地域公共交通活性化協議会	生駒交通(株)	近畿日本鉄道(株)生駒線 南生駒駅を經由する、南コミュニティセンターせせらぎ～暗峠間1系統 (今年度は国道308号工事による迂回運行があったため2系統で提出)の運行	第二次評価において、地元自治会関係者の働きかけのもと、利用実態等に関する情報交換を実施するなど、コミュニティバスの確保・維持に取り組み、目標数値についても達成できており、適切に事業を実施しているとの評価を受けており、今年度についても積極的に地元住民の方から意見をいただき、協力して事業を実施するよう努めた。また、「公共交通の利用を促す取組の一環として、市ホームページを活用した情報提供方策が推進されるよう期待する。」との評価を得たことに対し、市ホームページの更新は随時最新情報を掲載し、時刻表についてはオープンデータ形式でも掲載している。	A	A	地域の活性化という目的を達成するためにも、コミュニティバスの永続的な運行が求められるところであり、その実現に向け、乗車率を確保するために、以下のような利用促進策を実施してきた。結果として平成28年度での利用者増につながったため、今後も必要に応じて継続する。 ・沿線自治会における利用の呼びかけ ・沿線一部自治会における回数券の購入・全世帯配布 ・市ホームページや広報紙を活用したコミュニティバスの周知 ・利便性向上のための運行ダイヤの修正。(既に実施しているが、今後も利用状況に応じ対応を検討。)	複数年度評価(隔年評価) 前年度に二次評価を実施済	